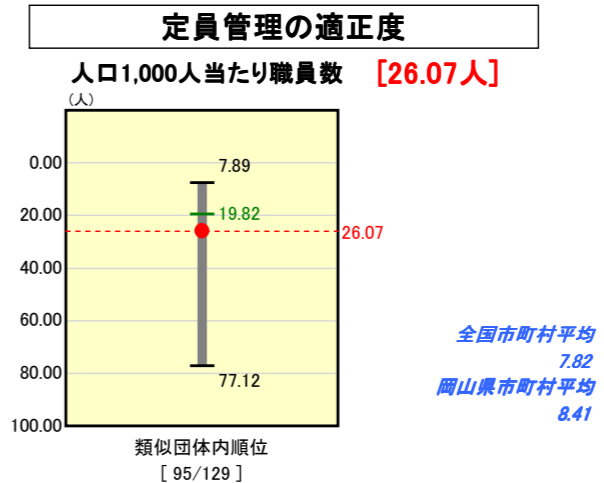
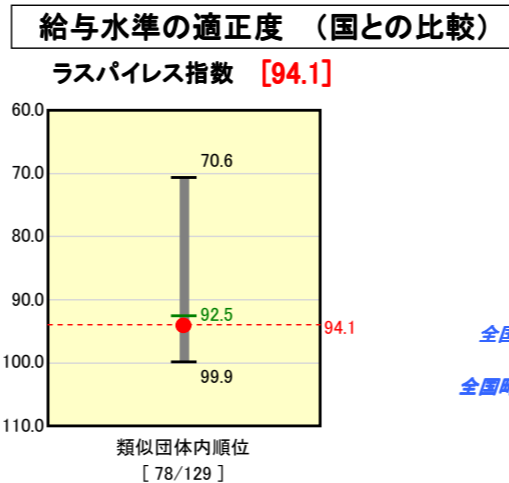
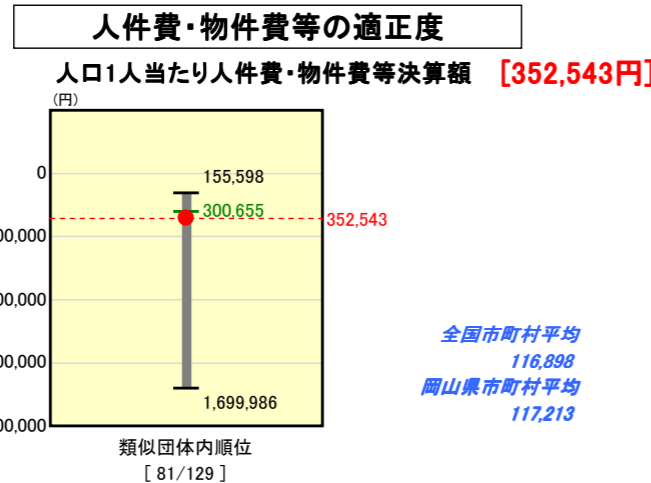
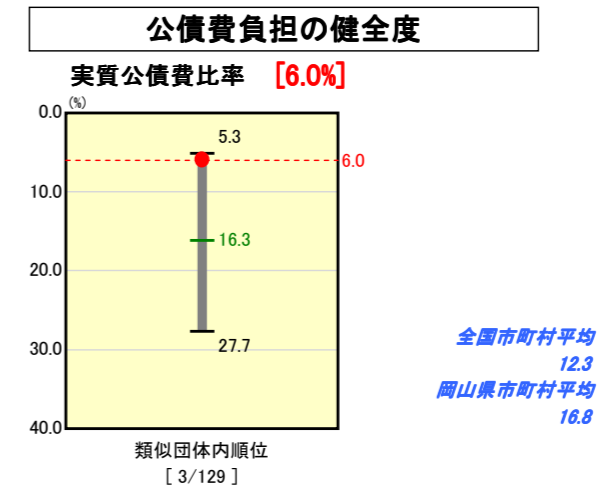
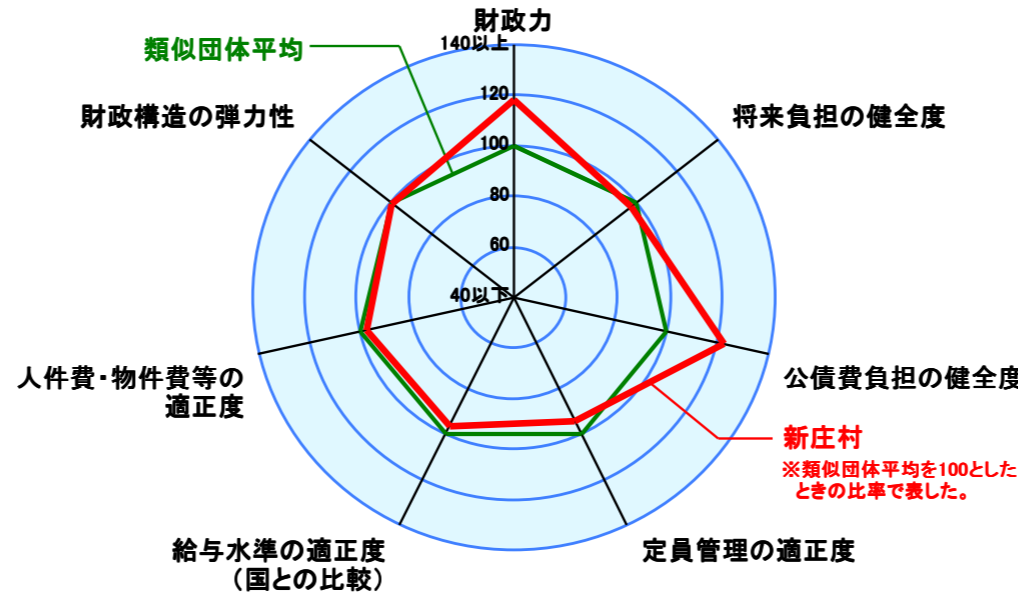
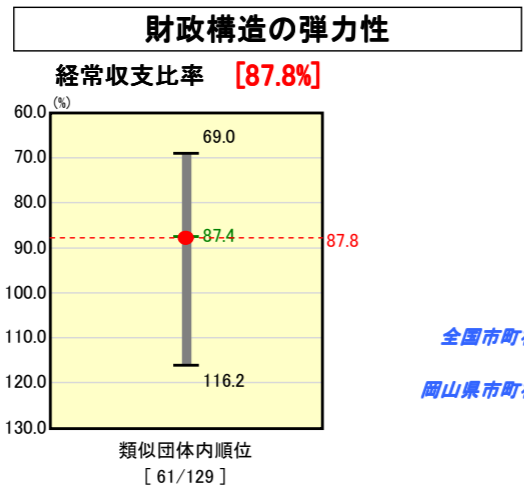
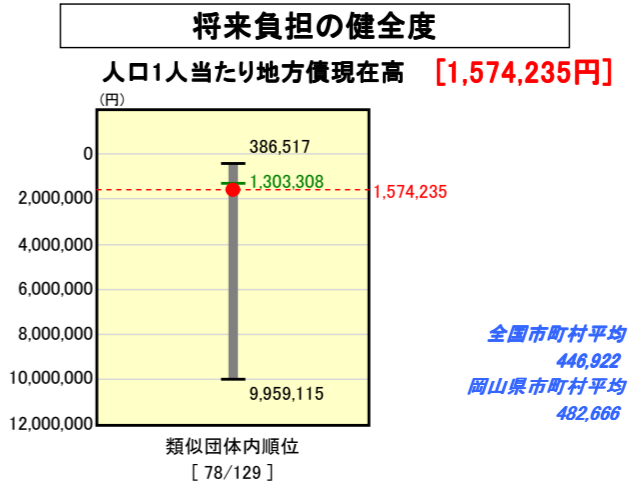
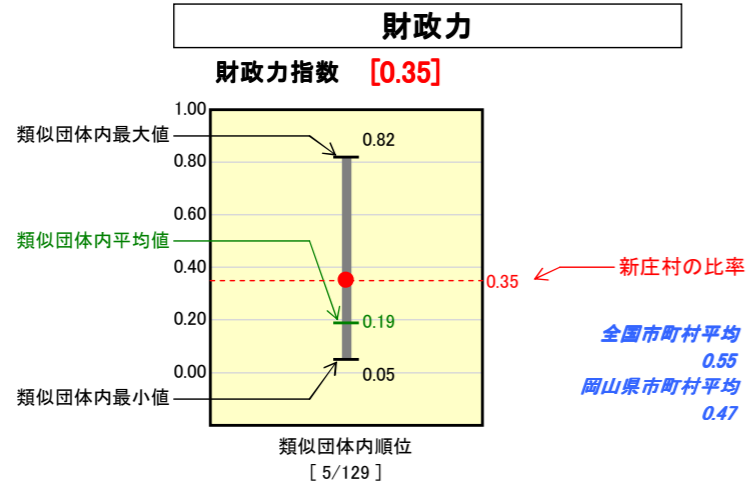


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 新庄村

人口	1,074	人(H20.3.31現在)
面積	67.10	km ²
歳入総額	1,396,797	千円
歳出総額	1,314,853	千円
実質収支	81,944	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
償却資産である固定資産税が歳入全体の19%を占めており、0.35と類似団体の平均を大きく上回っている。しかし毎年3.4%の減少が見込まれることから、今後も行政の効率化に努めることにより財政の健全化を維持していく。

○経常収支比率
平成18年度は92.1%と悪化した。行政改革への取組みにより、平成19年度は87.8%と、ほぼ類似団体の平均水準になっており、今後も義務的経費の削減に取組み、改善に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費・物件費等決算額が類似団体平均を上回っているが、これは、人口1,000人当り職員数が類似団体平均を6人程度上回っているためである。今後は定員管理の適正化を図っていく。また、行政改革の取組を通じて、物件費の抑制に努める。

○ラスパイレス指数
類似平均団体より1.6上回り、全国町村平均を0.9上回っている。今後給与の適正化に努め、類似団体の平均水準まで低下させる。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体平均よりも6人程度上回っているが、昨年に比べ減少している。これは、新規職員の採用を抑制しているためである。今後は住民サービスを低下させることなく類似団体平均水準まで職員の削減に努め定員管理の適正化を図る。

○実質公債費比率
類似団体平均では10.3、全国市町村平均では6.3下回っている。今後は簡易水道事業、下水道事業に係る償還が増加することから、一般会計内での起債の抑制に努めていく。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均、全国市町村平均を上回っており、平成14年度から平成18年度におこなった公共事業の実施によるためである。今後は新規地方債の発行の抑制により類似平均団体平均の水準となるよう努める。